

山形大学入学者選抜 一般選抜（前期日程）の「理科（生物）」における
出題ミスについて

令和8年2月25日（水）に実施した一般選抜「前期日程」において、出題ミスが判明しました。
受験生の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。下記のとおり対応についてご報告いたしますとともに、今後は再発防止に向け万全を期す所存です。

記

1. 教科・科目 理科（生物）
2. 実施日 令和8年2月25日（水）
3. 該当箇所
第1問 C 実験4 問9
4. 当該問題を課した学部及び受験者数
・理学部 73人 ・医学部 85人 ・工学部 25人 ・農学部 79人 合計 262人
5. 内 容
出題した問題文は次のとおりです。

第1問 C 実験4

問9 実験3と実験4において、実験4におけるエストロゲン投与による成長ホルモンの増加量は実験3における増加量よりも小さかった。その理由として考えられることをCの文および実験1と実験2だけにもとづいて推察し、以下の用語をすべて用いて75字以内で記せ。ただし、エストロゲンは卵巣以外からは分泌されず、卵巣を切除する手術そのものは血液中の成長ホルモンの量に影響を与えないものとする。また、成長ホルモンを指定するmRNAの量は血液中の成長ホルモンの量と比例するものとする。

用語： 成長ホルモン 応答 受容体

当該問題において実験4の結果を正確かつ完全に理解するためには、高等学校「生物」の学習指導要領に示されている内容以上の知識を必要とする可能性がありましたが、その点に関する補足をリード文等で示していなかったため、本学で指定している出題範囲から逸脱していたものと判断しました。

6. 対 応
当該の第1問 C 実験4 問9について、受験者全員を正解とした上で合否判定を行いました。

[本件に関する問い合わせ先]

山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課

電話 023-628-4140